

平成 2 9 年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

小規模多機能ホームひまわり

霧島市牧園町宿窪田 169 番地 22

T E L 0995-76-0277 F A X 0995-76-0281

E-mail minorio277himawari@yahoo.co.jp

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 松山、荒木、高田、藤崎、福元、前田、内田
塩川、田島、小島、草ノ瀬、福田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	5人	7人	人	人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 日々の観察や利用者との時間の共有で得た情報は些細なことでも記録に残す。 不審な点や疑問点を職員だけで憶測しないで、家族の面会時や管理者、ケアマネに随時聞くようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	記録等は良く出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2	8		2	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1	8	3		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	4	8			12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	2	10			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 慣れていない時期の本人が必要としている支援はできている。（声掛け、会話を意識している）声掛け会話を意識し、気遣いを示している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 特定のスタッフとは情報を共有できているものの事業所全体として支援が必要。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ミーティング時に取り決められた案を、文書にして全スタッフに回覧してもらいそれを実行する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 2 月 26 日 (13 : 00～14 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 松山、荒木、高田、藤崎、福元、前田、内田
塩川、田島、小島、草ノ瀬、福田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3 人	5 人	4 人	人	12 人

前回の改善計画	・利用者が最優先で、スタッフが優先ではないことを肝に銘じた利用者支援、介助を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者を優先した支援ができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		7	4	1	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		7	5		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		6	6		12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		10		2	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・利用者のある程度の目標は理解できている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・日々の対応に追われ、ミーティング等で確認していても次の場面で活かしていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ・各利用者のケアプランを見て、対応に役立てる。解らないことはケアマネや管理者に聴くようにする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 2 月 26 日 (13 : 00～14 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 松山、荒木、高田、藤崎、福元、前田、内田
塩川、田島、小島、草ノ瀬、福田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	4 人	3 人	0 人	12 人

前回の改善計画	・利用者の「いま」だけでなく「いまの思い」につながっている幾つかの要因を知るように努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者の「いまの思い」の要因を知るように努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?		3	7	2	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	7		2	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		7	4	1	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	7			12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	8			12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・利用者の気持ちや体調の変化に気付いた時は各自で共有し、支援に役立てている。 ・スタッフ間での意見交換等はできている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・以前の暮らし方の把握が大体くらい(3～4 個)しか出来ていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・日々の日常会話や、家族との面会時に積極的に聞くようにし、それを支援に役立てる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 2 月 26 日 (13 : 00 ~ 14 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 松山、荒木、高田、藤崎、福元、前田、内田
塩川、田島、小島、草ノ瀬、福田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	7 人	3 人	1 人	12 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・ 回覧板などで事業所の情報や近況を地域に流すと共に、回覧板で地区の行事などを知るように努める。・ 利用者の介助時や、家族の面会時により多くの情報を聴きだすことを職員は心がける。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・ 地区の行事予定を知り、参加している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		8	4		12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	8	2	1	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	6	4		12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	6	4		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ 本人と家族又地域との関係が切れないように支援している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ 事業所が接していない時間に、本人がどのように過ごしているか十分に把握出来ていない。・ 利用者様との会話不足。本人も過去についてあまり話したがらない場合があります。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">・ 本人の行動パターンや、人間関係等の理解に積極的に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年 2月 26日 (13:00~14:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 松山、荒木、高田、藤崎、福元、前田、内田
塩川、田島、小島、草ノ瀬、福田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	4人	5人	人	12人

前回の改善計画	・限られたスタッフでの利用者の介助を自分の基準で判断せずスタッフも勉強するようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・日々のかかわりを出来るだけ細かに記録する。そのかかわり記録にスタッフ全員が目を通し支援にどう生かせるかを考えるようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	2	8	1	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	5	1		12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	6	4		12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	6	1		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者本人の状態に合わせて柔軟な支援ができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の資源を使っての支援が不十分 ・事業所の周辺の地域資源を良く理解できていない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域との連携を考えた支援を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 2月 26日 (13:00~14:30)

6. 連携・協働

メンバー 松山、荒木、高田、藤崎、福元、前田、内田
塩川、田島、小島、草ノ瀬、福田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	2人	9人	1人	12人

前回の改善計画	・地域住民を交えた事業所主体のイベントなどで交流の場を整える。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域住民を交えた交流が不足している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		7	3	2	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	4	2	5	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	4	2	4	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	3	3	3	3	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること その他のサービス機関との会議はできている。 町内会のイベントには参加している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 登録者以外の高齢者や子供等が事業所を訪れていない。 いまだに事業所が地域に十分に周知されていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 登録者以外の高齢者や子供等や地域住民が事業所を訪れることができるようなイベント等を行う。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 2 月 26 日 (13 : 00～14 : 30)

7. 運営

メンバー 松山、荒木、高田、藤崎、福元、前田、内田
塩川、田島、小島、草ノ瀬、福田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4 人	4 人	4 人	人	12 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">自分たちの事業所ノ良い点を大きく見るようにする。小規模多機能ホームのサービス内容の知識を深めるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">小規模多機能ホームの特性を生かした支援ができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	4	7		12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1		1.		12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	5		12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	4	5	2	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者、家族、介護者からの意見や苦情を、全スタッフで共有し支援に役立たせている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域と共同した取組みをあまり行っていない、毎日が限られたスタッフでの支援のため、時間が不足している。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と共同した取組みを事業所全体で行う。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 2 月 26 日 (13 : 00～14 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 松山、荒木、高田、藤崎、福元、前田、内田
塩川、田島、草ノ瀬、福田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	1 人	8 人	3 人	12 人

前回の改善計画	・職場内でスキルアップのための研修を行う。(少数参加でも会を重ねれば全スタッフに行き渡る。)
前回の改善計画に対する取組み結果	・月 1 回のミーティングで、各職員の不足していることや、支援方法等を話し合っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか		1	5	6	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		2	4	6	12
③	地域連絡会に参加していますか		2	4	6	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		4	6	2	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 一部職員が研修に参加している。 リスクマネジメントに取り組んでいる。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 研修参加が限られた職員しか出来ていない。 資格取得やスキルアップの為の研修に参加する時間等がなかなか取れない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 研修や地域連絡会への参加を各職員の交代制での参加とする。事業所もその協力を行う。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 2 月 26 日 (13 : 00～14 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 松山、荒木、高田、藤崎、福元、前田、内田
塩川、田島、小島、草ノ瀬、福田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	2人	5人	人	人

前回の改善計画	・介護者の自己満足や基準でなく、利用者が拘束とか虐待や羞恥心を感じることがない介助や言葉かけ 接遇マナーを身につける。
前回の改善計画に対する取組み結果	・事業所の基本として、拘束や虐待を絶対に行わない。また、羞恥心を感じることがないような介助を行っ ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6	6			12
②	虐待は行われていない	7	5			12
③	プライバシーが守られている	5	3	4		12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	1	7		12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	2	4		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 事業所全体で個人情報の管理を行っている。 身体拘束、虐待はない。 介助時のプライバシーは守られてえいる。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 成年後見制度の活用はなく、身寄りのない利用者に対する補償的 (保証人) 等の活用法が分からない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 今後も身体拘束、虐待は行わない。利用者や家族のプライバシーの守り方の最良な方法を考える。
---------------	---

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週 32 時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）	9		1
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	9		1
3	前回の改善計画に対して、具体的な取り組みが行われていましたか？	8		2
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	10		

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 ・事業所の看板を再設置する。 ・地域の住民の方々が訪問しやすい環境をつくる。	6		4
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	9		1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	10		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	10		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかかっていませんか？	10		

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
	【前回の改善計画】 ・ 回覧板、事業所たより等の情報発信を年4回程度（春、夏、秋、冬）行う。 ・ 地域の知識（歴史や住民の考え方など）	6		4
1	職員はあいさつできていますか？	10		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	7	1	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	7	1	2
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	8		2

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
	【前回の改善計画】 ・ 地域の高齢者さんとの交流を積極的に行う。 ・ 地域の役員さんや住民の方達との交流をより多く行う。	6		4
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	10		
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	6		4
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	7		3
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	5		5

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 ・スタッフの会議への交代での出席は継続して行う。 ・地域の住民に会議の内容等を発信する。	6		4
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	10		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	3	3	4
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	7	1	1
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	10		

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 ・夜間における災害、火災、地震に対する対応を具体的に取り決める。	7		3
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	7		3
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？		4	6
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	6	4	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	10		

以上で終了です。ありがとうございました。

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	9		1
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	9		1
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	8		2
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	10		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・少人数でお互い目標に向かって努力されている姿勢は大変良かった。
- ・職員が各自で自己評価をすることで今後の課題を出す。
- ・殆どの職員が参加しての事業所評価を行っている。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画

- ・特定のスタッフに偏らないようにミーティングの曜日を変えたり工夫はできているが、今後は他事業所の情報を得たりして内容の充実を図る。
- ・月1回のミーティングは継続してその内容の充実を図る

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・ひとり一人が認識して結果への取組を行う。
- ・他事業所の情報を取得し事業所としての内容の充実を図る。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・可能な事柄を計画に入れて評価を行う。
- ・職員自身で出来ていないことへの自覚やその改善策を具体化するようにする。
- ・毎月1回のミーティングの継続はもちろん課題が出た時には早急に開催するようにする。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・スタッフの皆さんの支援の努力が見られます。
- ・自分自身のスキルアップを図る。
- ・個人で支援するのではなく事業所全体での支援体制の確保

【改善計画】※後日記入

- ・職員自身で出来ていない事への自覚やその改善策を具体化するようにする。
- ・毎月1回のミーティングの継続はむろんのこと課題が出た時には早急に対処する。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		4
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	9		1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	10		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	10		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	10		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・事業所の環境は単独ではできないと思うので地域の方達やスタッフの連携が必要と思う。
- ・通路、玄関、リビングに花があり居心地がよく、入口が分かりやすい。
- ・暖かい日には玄関が明け開かれており圧迫感がなく開放的だ。

【前回の改善計画】

- ・事業所の看板を再設置する。
- ・地域の住民の方々が訪問しやすい環境をつくる。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・看板の設置はご近所の敷地面などに課題があり見送りになっている。
- ・利用者や来訪者が居心地のいい空間づくりが必要
- ・事業所の入口通路に花が植えられているので気持ちが落ち着く。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・利用者や来訪者がいつ来られても居心地のいい空間づくりを行う。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		4
1	職員はあいさつできていますか？	10		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	7	1	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	7	1	2
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	8		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・場所が奥にあるので分かりづらい？相談しやすい雰囲気も大切。
- ・まだまだ事業所が地域の方々への認知度が低い。
- ・地域の回覧板などと一緒に事業所たより等の配布などを積極的に行ったほうがよい。

【前回の改善計画】

- ・回覧板、事業所たより等の情報発信を年に4回程度（春、夏、秋、冬）行う。
- ・地域の知識（歴史や住民の考え方傾向など）を可能な限り情報収集して深く知るよう努める。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・地区会長より事業者たよりを発行して回覧板等で一緒に回覧したらどうか。
- ・日常多忙の中改善計画に向って最大限努力されることは大変良いことだと思います。
- ・地域住民の方々への情報公開やサービスの提供等を行う。

【改善計画】※後日記入

- ・事業所たより等を発行する。（その責任者の選定を至急行う）

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		4
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	10		
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	6		4
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	7		3
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	5		5

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・民生委員さんからの情報を得て積極的に関わっていく。
- ・暖かくなると霧島温泉駅への散歩等を始める事により利用者の生活に変化を持たせる。
- ・自事業所の利用者だけでなく。近隣の心配な方々に積極的にかかわる事業所としての体制づくり。

【前回の改善計画】

- ・地域の高齢者との交流を積極的に行う。
- ・地域の役員さんや住民の方達との情報交換をより多く行う。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・日々の仕事に追われる中で、地域に出向く余裕はないと思うし又、実際の利用者様にも影響が出る
- ・個人ひとりの支援には無理があるが、事業所全体で支える体制（出勤でない人の活用）等

【改善計画】 ※後日記入

- ・地域の役員さん及び民生委員さんとの情報交換をより多く行う。
- ・事業所が地域に出向き地域の高齢者との交流を積極的に行う。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		4
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	10		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	3	3	4
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	7	1	2
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	10		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・運営推進会議委員やスタッフの意見を参考にできている。
- ・事業所のある地区の役員さんから心配な方々等を紹介いただき事例の検討を行う。

【前回の改善計画】

- ・スタッフの会議への交代での出席は継続する。
- ・地域の人達に会議の内容等を発信する。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・地域で本当に困っている人を発掘し地域包括へ情報提供ができる。
- ・事業所だけでなく他の福祉関係や病院と連携した心配な方々等の事例検討を行う。
- ・様々な関係機関との連携方法や活用方法を確認する。

【改善計画】※後日記入

- ・地域と福祉関係及び医療関係、行政機関との連携方法や活用方法を確認する。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		3
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	7		3
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？		4	6
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	6	4	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	10		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・ 訓練は実施につなげるように把握する。
- ・ 事業所のある地区の防災訓練等がなく参加にいたらない。
- ・ 近隣の住民の方々に平日頃より災害時における非難協力をお願いします。

【前回の改善計画】

- ・ 夜間における災害、火災、地震に対する対応を具体的に取り決める。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・ 事業所には非難経路等を掲示してある。
- ・ 災害時の避難先等の確認は常に行っておく。
- ・ 職員以外の協力者の確保に努める。
- ・ 災害時の食料（缶詰、飲料水等約3日分）の確保

【改善計画】※後日記入

- ・ 災害時の食料（缶詰、飲料水等を3日分）の確保
- ・ 地域、近隣の住民の方々に日常から災害時における非難協力をお願いします。
- ・ 日常より避難経路、避難先を確認する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社 みのり	代表者	高田 美智子	法人・事業所の特徴	真心をもってその人となりを尊重し安心と信頼されるサービスを提供いたします。一人ひとりが地域の中で自分らしい生活が出来るように支援いたします。地域の方達の介護の相談窓口になります。
事業所名	小規模多機能ホーム ひまわり	管理者	松山 里見		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	2人	人	1人	1人	人	5人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 特定のスタッフに偏らないようにミーティングの曜日を変えたり工夫は出来ているが、今後は他の事業所の情報を得たりして内容を充実していく。 月1回のミーティングは継続してその内容の充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが認識して結果への取り組みを行う。 他事業所の情報を取得し事業所としての内容の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> スタッフの皆さんの支援の努力が見られます。 自分自身のスキルアップを図る 個人で支援するのではなく、事業所全体での支援体制の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 職員自身で出来ていない事への自覚や改善策を具体化するようにする。 毎月1回のミーティングの継続はむろんのこと課題が出た時には早急に対処する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の看板を再設置する。 地域の住民の方々が訪問し易い環境をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の環境は単独では出来ないと思うので地域の方達やスタッフの連携が必要と思う。 通路、玄関、リビングに花があり居心地がよく入口が分かりやすい。 暖かい日には玄関が明け開かれており圧迫感がなく開放的だ。 	<ul style="list-style-type: none"> 看板の設置はご近所の敷地面などに課題があり見送りになっている。 事業所の入口通路に花が植えられているので気持ちが落ち着く。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者や来訪者が何時こられても居心地のいい空間づくりを行う。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 回覧板、事業所たより等の情報発信を年に4回程度（春、夏、秋、冬）に行う。 地域の知識（歴史や住民の考え方傾向など）を可能な限り情報収集して深く知るように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 場所が奥にあるので分かりづらい？ 相談しやすい雰囲気も大切 まだまだ事業所が地域住民への認知度が低い。 地域の回覧板などと一緒に事業所たより等の配布などを積極的行ったほうがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地区会長より事業所たよりを発行して回覧板等で一緒に配布したらどうか。 日常多忙の中、改善計画に向けて最大限努力されることは大変良いことだと思う。 地域住民の方々への情報公開やサービスの提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所たより等を発行する。（その責任者の選定を至急に行う）

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者との交流を積極的に行う。 ・地域の役員さんや住民の方達との情報交換をより多く行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員さんからの情報を得て積極的に関わっていく。 ・暖かい日には霧島温泉駅への散歩等を始める事により利用者の生活に変化を持たせる。 ・自事業所の利用者だけでなく近隣の心配な方々に積極的にかかわる体制づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の仕事に追われる中で、地域に出向く余裕はないと思うし又、実際の利用者様にも影響がでる。 ・個人ひとりの支援には無理があるが、事業所全体で支える体制（出勤出ない職員の活用）等 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の役員さん及び民生委員さんとの情報交換をより多く行う。 ・事業所が地域に出向き地域の高齢者との情報交換を積極的に行う。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの会議への交代での出席は継続する。 ・地域の人達に会議の内容等を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議委員スタッフの意見を参考に出来ている。 ・事業所の地区の役員さんから心配な方々等を紹介いただき事例の検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で本当に困っている人を発掘し地域包括へ情報提供ができる。 ・事業所だけでなく他の福祉関係や病院と連携した心配な方々等の事例検討を行う。 ・様々な関係機関との連携方法や活用方法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と福祉関係及び医療関係、行政機関との連携方法や活用方法を確認する。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間における災害、火災、地震に対する対応を具体的に取り決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練は実施につなげるように把握する。 ・事業所のある地区の防災訓練がなく参加にいたらない。 ・近隣の住民の方々に常日頃より災害時における非難協力をお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所には避難経路等を掲示してある。 ・災害時の避難先等の確認は常に行っておく。 ・職員以外の協力者の確保に努める。 ・災害時の食料（缶詰、食料水等3日分）の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の食料（缶詰、飲料水等を3日分）の確保 ・地域、近隣の住民の方々に日頃から災害における避難協力をお願いする。 ・日常より避難通路、避難先を確認する。